

全員協議会記録

令和8年3月26日②

【開催日】 令和8年3月26日（木）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前11時40分～午後0時8分

【出席議員】

議長	高松秀樹	副議長	大井淳一郎
議員	穂本真一	議員	伊場勇
議員	大年恒夫	議員	奥良秀
議員	北永千賀	議員	白井健一郎
議員	武野裕司	議員	恒松恵子
議員	中岡英二	議員	中島好人
議員	中村博行	議員	濱本健吾
議員	福田勝政	議員	藤岡修美
議員	藤谷圭子	議員	前田浩司
議員	宮本政志	議員	矢田松夫
議員	山田伸幸	議員	脇本直美

【欠席議員】 なし

【事務局出席者】

局長	石田隆	議事係長	岡田靖仁
----	-----	------	------

【付議事項】

1 視察報告について

午前11時40分 開会

高松秀樹議長 全員協議会を始めます。付議事項は、視察報告についてでございます。最初に、会派市民ネットから報告をお願いします。

矢田松夫議員 それでは、会派市民ネットから視察報告をします。視察日は、
昨年の2025年12月24日。視察先は、福岡県のJR日田英彦山線、
主に宝珠山駅から添田駅までの視察をしてきました。視察の事項は、B

R Tで復旧した日田英彦山線の実態について調査をいたしました。参加者は4名でございます。視察の目的は、ここに記載のとおりでありまして、美祢線が全線運休していることに対して、この日田英彦山線はB R Tで復興したということで実態調査と。実際に専用のバス彦星号に乗って体験してきたということであります。J R日田英彦山線のB R Tの実態は、ここの記載のとおりでありますけれど、特に停車駅が旧来の7駅から36駅に増えて、特に病院や道の駅にも停留して、非常に利便性は高くなったということであります。考察については、J R美祢線は、今後復旧に10年間かかるんじゃないかと言いながら、B R Tでやればその半分になるということで比較をしてきました。彦星ラインの普通区間の占用度は48%と、美祢線は全線46キロメートルのうち佐渡踏切4.2キロメートル、ほか2か所の専用道が現在計画されているということです。④の現在の美祢線バス運行は余分な時間がかかるとの声もあるけれど、視察先には運行管理する公共交通を求めるのか。それは可能であるのかということでもあります。それから、J Rバスの九州のバス車両は、全7色でラッピングされて、見た目が本当にきれいであったということでもあります。しかしながら、維持管理、購入費等、莫大な費用がかかるのではないかとということです。今後についてでありますけど、即時に施工すればするほど、現在の代行バスと何らそんな遜色がないと思っていたけれど、利用者減とならない仕様も必要であるということで、B R Tも必要ではないかということでもあります。特に、日田英彦山線の沿線には大きな観光地は存在しなかったと。ですから、ほとんどの利用者については、朝夕型の利用者は、高齢者、学生中心であるというふうに聞いたということで、これから先の法定協議会の議論の行方も大事でありますけれど、本市議会も美祢線のB R T復旧について多角的に検討していかなくてはならない。いわゆる財源と公共交通施策については表裏一体であると。そのための現地現場で見聞したこと、体験したことをさらに生かしていきたいということで、3月17日は美祢市議会でもB R Tの一般質問をするということでありまして、4名が傍聴に行ったということを含めて、今後さらに検討していきたいと思っております。

高松秀樹議長 今の報告に対しまして質疑等がありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）

大年恒夫議員 会派市民ネットから二つ目の視察報告をさせていただきます。

大阪府松原市への行政視察について報告いたします。令和8年2月10日に、大阪府松原市役所を4名で訪問しました。自治会活動の活性化に向けた取組について、市民協働課の担当者及び河内議長同席の下、情報収集並びに意見交換を行ってまいりました。松原市では、市民の自治会活動への参加を促進するためにポイント報奨制度を導入しており、一定の活動に応じてポイントが付与され、その実績に基づいて報奨金が自治会へ交付される仕組みとなっています。また、自治会役員の業務負担軽減を目的としたアプリを導入しており、普及促進のため、初期費用は現在市が負担しています。しかしながら、将来的な利用料が自治会負担となることなどから、現時点では導入している自治会は限定的であるということでした。本年度の予定が49自治会ということでした。さらに高齢者の健康づくりにおいても、アプリを活用し活動に応じたポイントを付与することで、健康寿命の延伸に向けた取組が進められておりました。考察ですが、本市においても、地域の課題を地域で解決できる体制の構築が求められており、RMOも含め、今後の自治会活動の活性化と有効活用は、本市の将来を支える重要な基盤となるものと考えます。そのため、引き続き不断の情報収集と調査研究に努めてまいりたいと感じたところであります。

高松秀樹議長 ただいまの報告に対しまして質疑はございますか。

宮本政志議員 今の考察について、「本市では自治会の非加入率はそれほど高くないが、その要因の一つとしてごみ集積場の使用権が挙げられる」と。矢田議員がその点を紹介したところとありますけど、この辺りを少し詳しく、どのような情報交換をされたのか、お聞きしていいですか。

矢田松夫議員 これについては、皆さん方のところはどういうふうになっているか分かりませんが、例えば自治会の未加入者がごみステーションにごみを持っていく場合は、あなたは自治会に入っていないからごみステーションには持っていくことはできませんよと。それは市と直接にごみの集積をしてくださいという話の中で、じゃあ自治会に入ってくださいよということで、ここに書いてありますようにごみ収集集積所の使用权というふうに説明をしたわけでありまして。

宮本政志議員 今のようなお答えだろうと思ったんですが、実際市のほうに私も過去、市のほうに確認しました。自治会に加入していない方がその自治会に住んで、自治会が指定するごみ集積場にごみを捨てられないのかという確認を何度も取ったんですが、ごみは捨てられます。それは不法投棄でなく、捨てられますということで、それが直接自治会の非加入率、つまりごみを捨てられなくなるから自治会に加入しないとということはないというようなことを言われていました。向こうで「参考になります」と言われたのは、具体的に実態や本市の方向性を確認した上で他市の方に伝えられたんですか。

矢田松夫議員 当然として、そのような実態の中で調査をしてやります。つまり、ごみステーションの費用については、市の補助金と自治会の皆さん方が金を出す。当然そのごみステーションについては自治会に権利があると。であるならば、その権利をあなたが使う場合は、自治会に入ってくれという手続になっております。

宮本政志議員 「そのような手続になっております」って、全市の中で本市の自治会の非加入率がそれほど高くない理由として、ごみ集積場の使用权が上げられるというように他市の方に言われたのであれば、その根拠、あるいはデータといったものをしっかり伝えないと間違った情報を出すことになりかねないので、私は先ほどからお聞きしてるんですね。個人

の主観ではなく、やはり視察で他市の方を交えて、そして向こうの松原市の方が参考になると評価されたということに関して、間違ったことあるいはうそみたいなことを伝えて、それが参考になったということは少し問題かなと思っているところです。別に答弁は要りません。

高松秀樹議長 本市におけるごみの捨て方や自治会の加入については、ぜひ常任委員会の中の所管事務調査なりで事実確認をして改善策が取れば取っていただきたいなと思います。ほかに、質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）次に、会派羅針盤をお願いします。

濱本健吾議員 会派羅針盤では、1月22日、1月23日の2日間にわたり、大阪府堺市にて視察を行いました。視察の目的は、1、堺エコライフポイントについて、2、市民プールの利活用について、これら二つの施策について調査研究に努めてまいりました。堺エコライフポイントについては白井議員、市民プールの利活用については私が説明いたします。まずは、市民プールの利活用について説明いたします。資料の3ページ目をお願いします。視察の目的は、市民プールの有効活用の可能性を検討するためです。既存プール施設を活用した先進事例である金岡フィッシングパークの運営状況、費用対効果及び利用実態等を調査し、本市施策の参考とすることを目的として実施しました。視察の概要を説明します。視察先は金岡フィッシングパーク、大阪府堺市北区南花田町36番地1にあります。開設時期は令和3年4月です。金岡フィッシングパークの経緯としては、堺市金岡公園プール再整備検討に伴い、プールの一部を釣堀に変更したものです。主な機能として、釣堀とバーベキューエリアがあります。次に事業内容を説明します。管理形態については、民間事業者による運営です。指定管理制度ではなく、市が場所を貸し出しています。事業者は売上げの1%を場所代として市に支払っています。次に初期費用について説明します。初期費用については、全て民間事業者が負担しているとのことです。転落防止用の柵が約100万円、井戸水の掘削のため約500万円、これは水道水コスト削減のためということで

す。あと建物改修費として1,000万円がかかっています。こちらのほうは必須ではありません。特徴としては、既存施設を活用して市の財政負担を伴わず、事業開始ができている点が挙げられます。次のページをお願いします。利用実績としては、令和6年、利用者6,060人、売上げ1,023万円。来場者の内訳が府内70%、府外30%と、幅広いところから来ていただいているのも特徴の一つです。また、こちらのほうで井戸水の水質の問題で魚の死滅が一定数発生してしまっており、現時点で十分な利益確保には至ってないということでした。ろ過等の努力を行い、死滅については減少傾向にあるとのことでした。また、水質検査は初期に実施しており異常はないということでした。魚種については、冬はニジマス、夏はサクラダイを使用しているということでした。水質が良好であれば、収益はさらに改善する可能性があるということでした。本市民プールは、立地条件に恵まれている一方、利用期間は約2か月にとどまっております。本事例から、プールの一部転用、季節外期間のバーベキュー等を行うことにより集客機能の維持。初期費用については民間が担っており、官民連携の手法として注目できます。こちらにより、通年型のにぎわい創出と施設価値の向上が期待できるのではないのでしょうか。市の財政負担を抑えつつ、一定の売上げと広域集客が確認できた点は、本市における公共施設活用検討において有益であると考えます。まとめに入ります。金岡フィッシングパークは既存プール施設を活用し、民間資金により低コストで新たな集客機能を創出した先進事例でありました。本市においても、市民プールの未活用期間を活用した通年型活用について、民間連携を前提とした具体的検討を進め政策提言に努めてまいりたいと思います。以上で市民プールの利活用について説明を終わります。次に堺エコライフポイントについて、白井議員が説明いたします。

白井健一郎議員 では、1ページに戻ってください。堺エコライフポイント事業です。（1）市民全体の環境意識を高めていく必要性、これは山陽小野田市民の全体のっていう意味です。気候変動に対する国連の取組を受

け、2020年には国が、2022年に山口県が、2050年までのカーボンニュートラルを宣言しました。山陽小野田市においても、行政や企業のGXへの取組が端緒についたところであるが、今後もっと本市の市民全体の環境意識を高め、環境行動を促進し、GXの機運を盛り上げていく必要があるのではないか。その先進事例として、大阪府堺市の堺エコライフポイント事業を視察することとしました。(2) 環境に対する堺市の特色。堺市は、大阪第2の人口約80万人を誇り日本有数の産業都市であるが、かつては公害問題も抱えていました。その中で、カーボンニュートラルに対する反応も早く、2030年までにエネルギーを地産地消するプロジェクトに取り組んでいて、堺エコライフポイント事業もこのプロジェクトの一環として、市民の環境意識を高め、環境行動を促進するために実施しています。なお、本事業は環境省と「食とくらしのグリーンライフポイント推進事業」で連携しています。(3) 本事業への仕組み。まず、ア、堺市民がアプリをダウンロードします。4年目に入りますが、現在登録者数は約1万2,000人です。イ、参加店舗等で市民に環境によい行動、自転車の使用やカトラリー類、つまりストローやフォークの辞退、食事の食べ切り、省エネ家電の購入等々で、スポットは全市的に1,300か所以上をしてもらい、ポイントを付与する。ウ、ためたポイントは年一度、協賛企業約30社からプレゼント抽せんや電子マネーギフトに還元されます。(4) 予算規模ですが、初年度令和4年と2年目は1,500万円ずつ。ただし、3分の2は環境省からの補助です。令和6年、7年は600万円となっております。(5) 本事業の効果ですが、堺市で利用者アンケートを実施したところ、環境について日常的に行動実践しているが、41%から52%に増加し、アプリによって環境への意識が高まった市民が53%、ちなみに以前から環境への意識がある人が43%なので、もう96%の方が環境への意識を持っていると効果を見てとれます。(6) 視察で得た知見ですが、ア、環境意識や環境行動は日常生活の中の小さな実践から始まる。本事業は、行政が比較的低コストで市民や企業巻き込み型の事業に取り組むことで、意識変容や構造実践を促進する先進事例であった。低コストなのは、事

業自体がハード面をあまり必要とせず、市民の日常生活の中でのアプリの利活用によるからと考える。イ、GXや脱炭素は新しい産業構造の文脈で語られることが多いですが、もちろん環境問題への取組は、行政や企業にお任せではなく、市民行動が不可欠です。ウ、本市を振り返り、家庭ごみの分別や減量に関しては市民の意識が高く、環境意識が高いと評価できます。また、自然が豊かな本市では、自然を汚してはいけないものという意識も高いし、生物多様性への意識もあります。これはアサギマダラという蝶々ですね。ああいうものを意識しております。しかし、市はカーボンニュートラルやGXへの啓発については不十分であり、市民もこれらに自分がどのように関わっていくべきかまだよく分からないというのが本音ではないだろうか。堺市の細分化された環境局を学び、本市の環境課は市民の日常生活の環境問題には深く関わっているが、例えばGXの啓発についてどの程度促進しているかはまだ見えてきません。今回の視察で得た知見を本市でのGX等の取組に生かしていきたいと思っています。

高松秀樹議長 以上の報告に対しまして質疑等はございますか。

奥良秀議員 フィッシングパークの件で教えていただきたいことがあります。

堺市金岡公園プール再整備検討ということで、どのようなことを検討されてこういう事業に至ったのかっていうような説明は受けてこられましたでしょうか。

濱本健吾議員 金岡市のプールの老朽化が著しく、建て替え、取壊しというような意見の中で、一部利活用として釣堀という形になります。

奥良秀議員 本市の市民プールで建て替えとか壊すとかいう話があるとは思えないんですけど、その辺と今回のこの事業を結びつける点というのは何かあるんでしょうか。

濱本健吾議員 この金岡公園プールについてはそうなのですが、大阪府市内にほかにこのような形で釣堀にしているようなところが全国的にあります。その中では、例えば夏以外は釣堀を行い、夏は整備してまたプールとして活用しているというような事例もあります。このたび金岡公園プールがフィッシングパークとして非常に成功しているため、ここにお伺いしました。

奥良秀議員 質疑と答弁が違うと思うんですけど。羅針盤の方は、山陽小野田市民プールを何かしら活用したいと考えて今回この視察地に行かれていますと思うのですが、フィッシングパークにする前提というのは全然ないと思うんですよね。ここに至る相互関係は何かあるんですかね。ここに視察に行かれた理由をよく教えてください。

濱本健吾議員 もともと市民プールが、市内でいう一等地にあるにもかかわらず2か月程度しか利用されていない。10か月程度が未活用期間になっているというのが最初になります。

奥良秀議員 であるならば、市民プールを所管している常任委員会で、やはりきちんと……市民プールは昭和49年から使用されているんですが、かなり老朽化が進んでいる中で、設備等の改善をしながら今運営している。コロナ禍にはかなり減ってきている中でも、今はすごい努力をされて、利用される人たちがどんどん増えてきている状況下にあります。金岡フィッシングパークは、もう親子の水遊び場しかプールが使われておりませんし、そのほかはバーベキューのエリアをつくられて、今の市民プールとは全然違うものになっております。だから、そういったところを所管でよく調べられてから、本当にこういうことを市が考えられているかどうかを確認して行ってほしいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

濱本健吾議員 そうですね。御意見ありがとうございます。

恒松恵子議員 金岡フィッシングパークの視察の利用実績を拝見しまして、売
上高が1,023万円とのことでした。想像より随分低いなと思うんで
すが、利益を出す手法については何か説明があったのでしょうか。

濱本健吾議員 利益を出す手法というのは、どういったことでしょうか。

高松秀樹議長 恒松議員、もう一度分かりやすく。

恒松恵子議員 売上げが1,023万円とのことですが、それにかかる経費につ
いての説明は受けたのでしょうか。

濱本健吾議員 経費に対しての多くは魚の購入費と聞いております。また、公
共施設というかこのような施設の多くが、小野田では指定管理制度を使
って自治体がお金を払っていると思います。こちらの施設は指定管理制
度ではなく、逆に民間企業が場所代を支払っているという面で非常に有
効活用できているんじゃないかと感じております。

恒松恵子議員 人件費等を鑑みますと、利益が出るのかちょっと疑問に思った
ので、お尋ねしました。

高松秀樹議長 ほかに質疑はありますか。なければ、次に会派創政会、お願い
します。

穂本真一議員 それでは、会派創政会が視察研修の報告を行います。令和8年
2月6日、静岡県浜松市において、浜松オートレース場及び浜松こども
館を視察してまいりました。まず、浜松オートレース場についてです。
本施設は、総括民間委託による経営効率化施設整備の実績を調査し、収
益の一般会計への還元や地域行政の在り方を学び、本市の事業運営に生
かすことを目的としたものです。視察内容といたしましては、経営面で

は、開場以来、約808億円を売り出し、近年は年額5,000万円を定期的に繰り入れている点が確認できました。また、運営は日本トーター株式会社に7年間委託されております。施設面ではネット投票主体の時代に対応し、メインスタンドを約3分の1に縮小するなど、施設のダウンサイジング化が進められております。地域還元といたしましては、収益を保育整備や道路照明のLED化などに活用されております。地域全体への還元を図られておりました。考察として、こうしたダウンサイジング化は、維持管理コストを抑えつつも快適性を向上させるものでありまして、本市の施設改修においても重要な視点であると考えます。また、オートレース場は本市にとって外資獲得の貴重な資源であります。その収益を市民生活に還元し、理解を得る取組が必要です。今後は、株式会社JPFとの連携を一層含め、民間のノウハウを活用しながら、将来を見据えた整備計画の策定と持続的な収益確保につなげる必要があると考えます。次に、浜松こども館についてです。施設には、地域材を活用され、子供向け施設として国内初となるFSCプロジェクト認証を取得するなど、森林資源の循環を教育へと結びつけた取組が行われておりました。考察として、単なる遊び場にとどまらず、郷土愛の醸成や保護者支援、さらには中心市街の活性化にも寄与する多機能な公共施設として大変参考になりました。以上で視察研修の報告を終わります。

高松秀樹議長 ただいまの報告に対しまして質疑はございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）3会派から報告を頂きました。御存じのように、この視察は皆さんの政務活動費を使って行かれていますので、視察先での経験とか得た知見などをしっかり議案審査及び政策提案に結びつけていただきたいと思います。そこを今後の委員会活動でしっかり行ってください。それともう一つ、私や事務局から指示はしていなかったんですが、3会派とも様式がばらばらになっています。統一フォームを私どものほうでつくりますので、今後は統一フォームに記入していただいて、提出していただきたいと思います。今、市のホームページに報告書も出ていますね。市民ネットについては写真等をたくさん出していただいて

ましたが、今後はそういう写真も出していただくような指示をする可能性がありますので、この部分での協力をよろしくお願いいたします。それでは、以上で視察報告が全て終わりましたので、これで全員協議会を終わります。お疲れさまでした。

午後 0 時 8 分 散会
